

【現代風“組織一丸”マネジメント】シリーズ

過剰な権利主張にも建設的な対処法がある

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【世代間ギャップでは収まらない社会現象？】

『最近の従業員は、権利ばかりを主張する』という表現が、様々な方面から聞こえるのが昨今の情勢かも知れません。

もちろん、以前から“世代間ギャップ”と言われる中で、若者が年長者から“権利の過剰主張”を指摘される傾向はあったと思います。

【行き過ぎた権利主張も少ないとは言えない】

しかし、最近ではその傾向が、ある一線を越えるところまで来ているとも言えそうなのです。特に企業内では、本来弱い立場にあるはずの従業員に、経営者が“遠慮”を強いられるような状況まで、出て来ているかも知れません。

どうして、ここまで“状況”が進んでしまったのでしょうか。

【個々人を追い詰めがちな現代の状況】

その要因には、個人的な問題の他に、現代環境の中で“追い詰められる”人が増えたことが大きいという指摘があります。

その個人の資質というより、追い詰められた状況で“感情が爆発”する時、自然に“権利主張”に向かう傾向があるというわけです。

【権利主張に建設的に対処する方法】

もちろん“権利主張”自体は正当なことですが、それが“過剰”になって“社内問題”を引き起こすなら、対処が必要です。

そして、建設的な“対処”のためには、多くの人材を“追い詰める”現代環境の把握が欠かせないのです。しかも状況の把握は、それだけでも“対処法”の発見を促進します。

【二人の経営者の対話が解決の糸口に…】

そんな“現代的な課題”が、40歳代と60歳代の二人の経営者の“対話”の中で、徐々に“解決の糸口”を見せ始めました。

そこで、その“二人の経営者”の対話を、具体的な事件や事象を描いた“マネジメント・レポート”として、ご用意することに致しました。

【ご希望者にはレポートを差し上げます！】

定期購読ご希望者には、完全版をお送りしますので、ご遠慮なくご一報ください。

もちろん、非常に“微妙”な問題を含むテーマであるため、様々な“賛否”があり得ると思いますが、検討材料の一つとして、お役立ていただければ幸いです。



いつの時代にも、“若手は権利主張ばかりをする”という嘆きが聞かれました。しかし、現代はその“嘆き”が、かつてないほど大きくなっていると見えるかも知れません。

なぜ“現代”に、そうした傾向が出るのでしょうか。そして、なぜ権利ばかりを主張する人材が増えるのでしょうか。原点に戻って“権利主張”に目を向ける時、そこにはむしろ組織マネジメントにとって“建設的な要素”も見えて来るのです。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぶりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！